

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター年度計画の実施(平成29年度)	
事業概要	平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とする中期計画を達成するため、取り組むべき事項を平成29年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に事業を実施した。 また、平成30年度より始まる第三期中期期間における計画策定を行った。		
これまでの経過	平成21年4月1日：法人を設立し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画に基づいた業務運営を開始 平成29年6月30日：平成28年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出 平成30年3月29日：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第三期中期計画認可決定 平成30年3月31日：平成30年度年度計画を都へ提出		
現在の進行状況	<p>【センター全体】 平成29年10月：都民を対象とした「第147回老年学・老年医学会公開講座」を開催 平成29年10月：第2回理事会にて第三期中期計画を決定 平成29年11月：都民を対象とした「第148回老年学・老年医学会公開講座」を開催 平成30年2月：都民を対象とした「第149回老年学・老年医学会公開講座」を開催 平成30年3月：第4回理事会にて平成30年度予算及び年度計画を決定</p> <p>【病院部門】 平成29年11月：急性期脳卒中患者に対する脳卒中ケアユニット(SCU)の運用を開始 平成30年1月：医療情報システムの更新に係るキックオフ及び業務検討WGの開始 平成30年3月：「東京都健康長寿医療センター公的医療機関等2025プラン」を策定 平成30年3月：「第67回日本老年医学会関東甲信越地方会」を開催</p> <p>平成29年10月～平成30年3月：平均在院日数12.2日、病床稼働率88.0%で推移 (前年同期 平均在院日数12.1日、病床稼働率88.1%)</p> <p>【研究部門】 平成29年11月：「高齢者の健康余命にフレイルが大きく関与、メタボリックシンドロームの影響は認められず-地域高齢者の長期追跡研究より判明-」をプレス発表 平成30年3月：「加齢により特定タイプの皮膚神経活動が低下することで、膀胱の収縮が抑制されにくくなることを発見」をプレス発表</p>		
今後の見通し	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療及び研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、第三期中期計画及び平成30年度計画に基づき、各目標に向けて、着実に事業を進める。</p> <p>病院部門では、職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体において、継続的に一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学研究を実施する。</p>		
問い合わせ先	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課	電話	03(3964)1141